

## **「2015年度グッドデザイン賞」応募受付を4月2日より開始**



**GOOD DESIGN  
AWARD 2015**

- ・受付は4月2日(木)から6月3日(水)まで
- ・審査委員長に永井一史氏、副委員長に柴田文江氏が就任
- ・デザインを社会に届ける12の「フォーカス・イシュー」を設定
- ・「ロングライフデザイン賞」への推薦も受付を開始

公益財団法人日本デザイン振興会は、主催事業である2015年度のグッドデザイン賞の応募受付を4月2日(木)から、グッドデザイン賞のウェブサイトを開始します。応募締切日は6月3日(水)です。さらに、長年にわたり人々から支持されているロングセラー商品のデザインに贈られるグッドデザイン・ロングライフデザイン賞へのユーザー推薦も、4月2日から6月3日までの間で受け付けます。

### **2015年度グッドデザイン賞の特徴**

2015年度は審査委員長に永井一史氏(アートディレクター/クリエイティブディレクター HAKUHODO DESIGN代表取締役社長)を、審査副委員長に柴田文江氏(プロダクトデザイナー Design Studio S代表)を迎えた新体制で審査を実施します。特に重視したポイントとして、複雑化する社会においてデザインに成し得ること、デザインの可能性を明らかにするため、初めて12の「フォーカス・イシュー」を設定しました。この「フォーカス・イシュー」とは、日本の社会が世界に先駆けて向き合わなければならない課題や、今後人々のより大きな関心事となって社会を動かしていくことが予想される12のテーマです。それらに対してデザインがどのようにかわり、これからデザインに何ができるのか、「フォーカス・イシュー」を通じて、審査委員が問題意識を携えながら審査に臨むとともに、受賞したデザインの価値をより積極的に社会へ伝えていきます。

#### **「フォーカス・イシュー」**

- 1.地域社会・ローカリティ
- 2.社会基盤・モビリティ
- 3.地球環境・エネルギー
- 4.防災・減災・震災復興
- 5.医療・福祉
- 6.安心・安全・セキュリティ
- 7.情報・コミュニケーション
- 8.先端技術
- 9.ソーシャルキャピタル・オープンアーキテクチャー
- 10.教育・伝習
- 11.ビジネスモデル・働き方
- 12.生活文化・様式

そして、すべての受賞デザインの中でも各ジャンルを通じて特に優れたデザインであると評価された100件を「グッドデザイン・ベスト100」として、この100件から「グッドデザイン大賞」「グッドデザイン金賞」などの特別賞各賞が決定されます。

受賞デザインは10月30日から東京ミッドタウンを中心に開催予定の受賞展「グッドデザインエキシビジョン2015(G展)」での出展、2016年春に発刊予定の受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2015」への掲載が行われるほか、国内外で開催する展示会や見本市、販売イベントなどでの紹介が随時行われます。さらに、受賞のシンボルである「Gマーク」を使ったPRを行うことができます。

## グッドデザイン賞への応募について

応募対象：2015年9月29日の受賞発表日に公表が可能で、2016年3月31日までにユーザーによる購入や利用が可能な、商品・建築・アプリケーション・ソフトウェア・プロジェクト・サービス・システムなど、ものごと全般

応募資格：応募対象に関する事業主体者およびデザイン事業者（国内外の法人と個人が相当）

応募方法：グッドデザイン賞ウェブサイトの応募専用ページから登録

## グッドデザイン・ロングライフデザイン賞への推薦について

推薦対象：現在まで生産と販売が続いている商品で、下記のいずれかの条件を満たすもの

- ・発売以来10年以上継続して提供され、社会からの支持を得ている商品
- ・グッドデザイン賞を10年以上前に受賞した商品

推薦資格：商品のユーザー、デザイナー、メーカー関係者など

推薦方法：グッドデザイン賞ウェブサイトの推薦フォームから登録

## グッドデザイン賞ウェブサイト [www.g-mark.org](http://www.g-mark.org)

## スケジュール

応募受付期間：4月2日（木）～6月3日（水） ※ロングライフデザイン賞への推薦受付も同期間

受賞発表：9月29日（火）

受賞展「グッドデザインエキシビジョン2015（G展）」：10月30日（金）～11月4日（水）

表彰式：11月4日（水）

## 開催概要

主催：公益財団法人日本デザイン振興会

後援：経済産業省／中小企業庁／東京都／日本商工会議所／日本貿易振興機構（JETRO）／国際機関日本アセアンセンター／日本放送協会／日本経済新聞社／読売新聞社（予定）

## 参考：グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞は1957年に創設された日本を代表するデザイン賞です。身の回りのあらゆるジャンルのものごとをデザインとしてとらえ、評価を行うことが特徴です。商品をはじめ建築、各種のアプリケーションやソフトウェア、デザインを活用したプロジェクトや取り組みに至るまで応募が可能で、私たちの社会を築き、暮らしの豊かさを導くさまざまな「よいデザイン」を見出しています。

さらに、受賞したデザインを、展示や販売企画、メディアとの連携など各種のプロモーションを通じて社会へ広く伝えていることもグッドデザイン賞の特徴です。多くの人々がデザインに接し、その意義を実感することができる環境づくりを担っています。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は80%もの認知率※を誇り、「よいデザイン」の象徴として広く親しまれています。

※日本デザイン振興会の2014年度インターネット調査による。

## 2015年度グッドデザイン賞審査委員長の紹介

### 永井 一史 (審査委員長)

アートディレクター/クリエイティブディレクター  
HAKUHODO DESIGN代表取締役社長  
多摩美術大学美術学部統合デザイン学科教授



1985年多摩美術大学美術学部卒業後、博報堂に入社。

2003年、デザインによるブランディングの会社HAKUHODO DESIGNを設立。2007年、社会的課題の解決に取り組む「+designプロジェクト」を主宰。毎日デザイン賞、クリエイター・オブ・ザ・イヤー、ADC賞グランプリなど国内外受賞歴多数。2015年4月から東京都「東京ブランド」クリエイティブディレクターに就任。

### 柴田 文江 (審査副委員長)

プロダクトデザイナー  
Design Studio S代表  
武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科教授



武蔵野美術大学造形学部卒業後、株式会社東芝を経て

Design Studio S を設立。エレクトロニクス商品から日用雑貨、医療機器、ホテルのトータルディレクションまで、インダストリアルデザインを軸に幅広い領域で活動をしている。毎日デザイン賞、グッドデザイン金賞など多数受賞。

### 正副委員長からのメッセージ

日本の社会、産業や暮らしのあり方が大きく変化している現在、デザインには社会を前進させる重要な役割が求められています。2015年度のグッドデザイン賞は、これからの時代を築いていくデザインの考え方をさらに広げ、さまざまなものごとの中にデザインを見立てていくことをめざしていきます。

そのひとつの試みとして、社会や我々一人ひとりが取り組んでいくべき「フォーカス・イシュー」を新たに設定しました。デザインが私たち自身のこととはもとより、身のまわり、さらにはコミュニティやより大きな世界に働きかけるポテンシャルを持つことを、新しいグッドデザイン賞を通じてより多くの皆さまと分かち合っていければと思います。

本件への報道関係者のお問い合わせ：株式会社オズマピーアール 担当：松林、石塚、鈴木  
TEL：03-4531-0214 E-mail：jdp@ozma.co.jp

一般からのお問い合わせ：公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局  
TEL：03-6743-3777 E-mail：info@g-mark.org